



Unified Inert Gas System(IGS) 第1号機を出荷

5月20日中国青島工場において、Unified IGS 第1号機の完成式典が執り行われました。

このUnified IGSはオランダのSMIT GAS SYSTEMS社が2006年にオルボルググループの傘下に加わったことから、従来、両社独自に製造・販売を行ってきたIGSをより先進的に統合・再開発を進めた新システムです。

Unified IGSは高性能なスクラバーとシンプルなファン、デッキシールユニットで構成し、従来製品以上に各機器の信頼性と運転、操作性の向上を図りました。

缶体の内面防食仕様はポリエステルフレークライニングからビニルエステルフレークライニングに変更致しました。より耐食性能の高いビニルエステル樹脂の採用と最新のフレークライニング技術による単純工法と汎用性の高い銘柄採用により、より安定的な防食塗膜を確保することが出来ました。

尚、この防食仕様はSMIT GAS SYSTEMS社のIGS & IGG製品において10年を超える採用実績からその実用性が確認されております。

Unified IGSは欧州と日本の技術をベースに、付加価値の低い缶体製品は中国自社工場で製造し、駆動&制御製品は先進域の製品を採用いたしております。そのことにより性能と信頼性に加え、経済性と安定供給体制を保証することで、顧客各位殿のグローバルビジネスに更なる貢献が可能であるものと期待しております。



Unified IGSは今春の発売開始以来、既に50隻を超える注文を頂き、この第1号機は韓国のSung Dong造船所に今月納入を完了し、本年末には就航の予定です。

MISSION™ OM型の最大缶を納入

この4月、佐世保重工業株式会社 第761番船向けに納入した補助ボイラは定格蒸発量が50Ton/hで、縦円筒式の缶としては最大容量のボイラです。

この要求仕様には、これまで2缶方式或いは2胴水管式ボイラが採用されてきましたが、同一船主向け中型2缶方式の実績から、建造時の艤装の簡易性と就航後の操作の容易性、信頼性が評価され1缶方式での大型縦円筒ボイラの採用に先鞭をつけたものです。

燃焼装置はロータリカップ式を採用し、完全燃焼性能の確保と同時に運転・保守の簡素化を図りました。本船は現在、艤装の途上で9月末の海上公試を終えて就航の予定です。



Unified IGS 製作第1号機(韓国Sung Dong向)



青島港での出荷風景(チャーター船への搭載前)



SEA JAPAN 2008

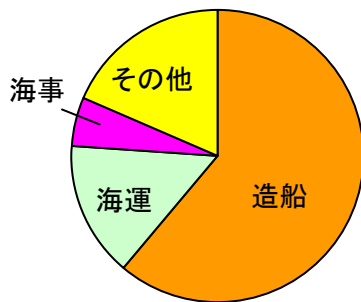
2008年4月9日～11日、東京ビックサイトにてSEA JAPAN 2008が盛大に開催されました。日本で行われる展示会としては前回はさらに上回る過去最高の展示規模で行われ、会期中は17,000名を超える業界関係者が来場しました。近年開発が進んでいる「環境保全」「省エネルギー」に関する製品・技術発表の多い展示会となりました。

オルボルグ・インダストリーズは展示会場の入口正面にMISSION BLUEのすがすがしいブースを出展。200名を超える関係者の方にお立ち寄りいただきました。会期中はアンケートを実施し、リサーチを行いました。アンケートに回答された方の中から15組30名の方に東京湾ランクルーズのチケットを進呈致しました。

アンケート結果

【来場者の内訳】

オルボルグブースへの来場者は造船が61.2%、海運14.9%、海事5.2%の内訳となりました。悪天候の中ではありますが多くのお客様に直接

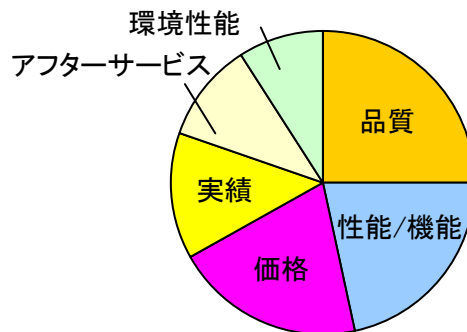


【来場者の内訳】

ブースにお立ち寄りいただき、具体的商談も活発に行われました。

【機器選定の判断基準】

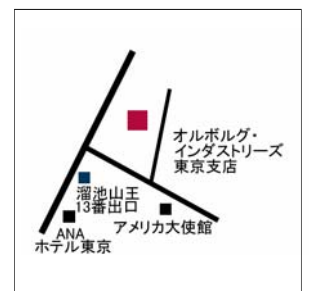
機器選定の際、重視される判断基準を複数回答していただいたところ、品質>性能/機能>価格>実績>アフターサービス>環境性能の順となりました。日本のマーケットにおいては廉価だけではなく高機能な製品が求められていることが再確認され、今後の製品の開発戦略にも有用な回答が得られたものと思います。環境性能という点では、主に欧州にて販売されているThermal Fluid Heaterに関心をもたれている来場者が目立ちました。



【機器選定の判断基準】

東京支店をリニューアル

東京支店では、お客様のご要望にさらにお応えできるよう事務所をリニューアルいたしました。弊社製品ならびにサービスをよりご理解いただけるスペースとして生まれ変わった東京支店にぜひお立ち寄りください。
(アメリカ大使館近く)



発行元 オルボルグ・インダストリーズ株式会社

製品、サービスに関するお問い合わせは下記窓口にて受けさせていただきます。

神戸本社

〒651-0096 神戸市中央区雲井通4丁目2番2号 マークラー神戸ビル
Phone: 078 271 5720 Telefax: 078 271 5741 : Email sal@aalborg-industries.co.jp

東京支店

〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目6番7号 第9興和ビル別館
Phone: 03 3584 8351 Telefax: 03 3584 8378 : Email tokyo@aalborg-industries.co.jp

Home page address: <http://www.aalborg-industries.com>

Your Preferred Partner